

# 第8章 記入例

様式第1号

## 公務災害認定請求書

請求書を所属長に提出する日

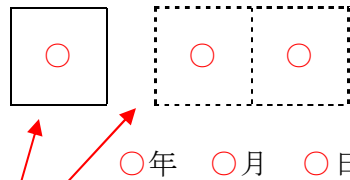
		*認定番号	
請求年月日 ○○年 ○○月 ○○日 地方公務員災害補償基金栃木県支部長 殿 被災職員本人 (死亡事案の場合は遺族) 下記の災害については、公務により生じたものであることの認定を請求します。		請求者の住所 ○○○市○○町○○番地 ----- ふりがな とちぎ たろう 氏 名 栃木太郎 ----- 被災職員との続柄 本人 -----	
所属団体名 地方公共団体名 (任命権者ごと) 市町村職員、公立学校等		所属部局・課・係名 (電話 ) 部局、事業所名、学校名、警察署名等	
被災職員に 関する 事項	1 共済組合加入名 所属団体名 地方公共団体名 (任命権者ごと) 市町村職員、公立学校等		健康保険組合員証記号番号 ○○第 ○○○○号
	氏名 ふりがな とちぎ たろう 氏名 栃木太郎 昭和○○年 ○月 ○○日生 (○○歳)		性別 <input checked="" type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
	職名 課長、係長、主事、労務主事、消防指令、巡査等の職名を記入		勤務 <input checked="" type="checkbox"/> 常勤 <input type="checkbox"/> 常勤的非常勤
	災害発生の日時 ○○年○○月○○日 (○曜日) 午前○○時○○分ごろ 後		
	災害発生の場所 負傷した場所又は疾病が発症した場所 (勤務場所以外の場合は番地まで記入してください。)		
	傷病名 診断書から (災害による) 全ての傷病名を転記		
	傷病の部位及びその程度 負傷の部位 約○か月の通院加療等を記入してください。		
	いずれかにチェック 組合員証の使用の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		有のとき 使用期間 月から 月まで 使用先

災害発生時の年齢

*受理	年 月 日	*認定	年 月 日
*通知	年 月 日		<input type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当

〔注意事項〕

- 1 請求者は、\*印の欄には記入しないこと。また、該当する□にレ印を記入すること。
- 2 「職名」の欄には、職員が災害を受けた当時の職名を、例えば自動車運転手、車掌、守衛、主事、技師、教諭、船員、用務員、作業員、巡査、消防士等と記入すること。
- 3 「2 災害発生の状況」又は「\*5 任命権者の意見」の欄の記入に当たって別紙用紙を用いるときは、本欄には「別紙のとおり」と記入し、その別紙について所属部局の長の証明を受け、又は任命権者の意見の記入を求めること。
- 4 「\*3 所属部局の長の証明」の欄の証明が困難である場合の取扱いは、地方公務員災害補償基金に相談すること

2 災 害 発 生 の 状 況 等	次の要領でなるべく詳細に記入してください。		
	① 誰が	通常「私は」で始まります。	
	② 何のために	〇〇の作業をするため	
	③ いつ	〇月〇日午前（後）〇時〇〇分頃	
	④ どこで	〇〇市〇〇町〇〇番地市道路上で 〇〇市役所〇階会議室入口付近で等	
	⑤ 誰と		同僚（上司）の〇〇さんと
	⑥ 何をしているとき	〇〇を〇〇していたところ  (具体的に)	
	⑦ どうして	誤って自分から〇〇して	
	⑧ どうなったので	転倒し〇〇を強く打ち痛かったので	
	⑨ どうしたのか	同僚の〇〇さんに付き添ってもらい、市内の〇〇  整形外科病院に行きました。	
	1、2に記入された内容が正しいか十分調査の上、証明をお願いします。		
	* 3 所長 属の 部証 局明 の	1 及び 2 については、上記のとおりであることを証明します。  〇年 〇月 〇日 所属部局の { 所在地 〇〇市〇〇町〇〇番地 名 称 〇〇市〇〇部〇〇課 長の職・氏名 部長、課長、所長、校長等	
	4	該当する□にチェック <input checked="" type="checkbox"/> 診断書 <input checked="" type="checkbox"/> 現認書又は事実証明書 <input type="checkbox"/> 交通事故証明書 <input type="checkbox"/> 第三者 加害報告書 <input type="checkbox"/> 通勤届の写 <input type="checkbox"/> 時間外勤務命令簿の写 <input checked="" type="checkbox"/> 出勤簿 の写 <input checked="" type="checkbox"/> 見取図 <input checked="" type="checkbox"/> 経路図 <input type="checkbox"/> 関係規程 <input type="checkbox"/> 定期健康診断 記録簿の写 <input type="checkbox"/> 既往歴報告書 <input type="checkbox"/> X線写真 <input checked="" type="checkbox"/> 写真 <input type="checkbox"/> 示談書 <input type="checkbox"/> その他	添付する資料名
	* 5 任命 権者 の 意 見	 <p>本事案は { 自己の職務遂行中 } の負傷であるので 出張中 公務上の災害と考えられる。</p> <p>〇年 〇月 〇日</p> <p>任命権者の職・氏名 市長、町長、消防長、教育委員会等 下記及び64・65ページの職種区分一覧を見て数字を記入してください。</p>	

- 5 「\* 5 任命権者の意見」の欄中 □ には、下記の9種類の区分番号を記入すること。  
1 義務教育学校職員 2 義務教育学校職員以外の教育職員 3 警察職員 4 消防職員  
5 電気・ガス・水道事業職員 6 運輸事業職員 7 清掃事業職員 8 船員 9 その他の職員。
- 6 「\* 5 任命権者の意見」の欄中 □□□ には、下記の16種類の区分番号を記入すること。  
01 医師・歯科医師 02 看護師 03 保健師・助産師 04 その他の医療技術者  
05 保育士・寄宿舎指導員等 06 船員 07 土木技師・農林水産技師・建築技師  
08 調理員 09 運転士・車掌等 10 義務教育学校教員 11 義務教育学校教員以外の教員  
12 その他の教育公務員 13 警察官 14 消防吏員 15 清掃業務員 16 その他の職員
- 7 年月日の記載には元号を用いる。

## 自己の職務遂行中の負傷

(記載例)

2 災害発生 の状況	私は、自己の職務である給食調理の準備のため、11月23日午前10時50分頃、校内の給食調理室の調理台に向って、同僚の下野さんと並んで、当日の献立であるすまし汁に入れるハウレンソウを、右手に包丁を持ち、左手でハウレンソウをおさえながら、包丁で刻んでいたところ、誤ってハウレンソウの根に近い部分に包丁が当たって滑り、左手人指し指の先のあたりを切ってしまいました。
	直ちに、同僚の下野さんに付き添ってもらい、校内の保健室で応急手当を受けたあと、校長先生に報告し、その指示により、近くの塙田外科医院に行き、治療を受けましたが、思いのほか傷が深く、入院が必要ということになり、医師の指示により、11月24日から栃木大学病院に転医し、入院して治療を受けています。

*5 任命権者の 意見	<div style="border: 1px dashed black; display: inline-block; padding: 2px;">0 9</div> <p>本事案は、自己の職務遂行中の負傷であるので 公務上の災害と考えられる。</p> <p>○ 年 ○ 月 ○○日</p> <p>任命権者の職・氏名 ○○市教育委員会</p>

## 出張中の負傷

(記載例)

2 災害発生 の状況	私は、上司の命を受け、同僚の下野さんの運転する公用車（栃53と1234）の助手席に乗り、市道123号線改良工事の中間検査のため、市内塙田町に出張しました。
	午後検査を終了し、公用車で帰庁する途中、1月18日午後4時20分頃、国道4号線の北町交差点で、赤信号のため停止し、信号待ちをしていたところ、後続のライトバン（宇都宮会社所有東山一郎運転）に突然追突されてしまい、その衝撃で、公用車のフロントガラスにひたいを強くぶつけてしまいました。
	直ちに、同僚の下野さんが警察と職場に連絡し警察の現場検証を受けましたが、私は救急車で市内の栃木市民病院に運ばれ治療を受けました。

*5 任命権者の 意見	<div style="border: 1px dashed black; display: inline-block; padding: 2px;">1 6</div> <p>本事案は、出張中の負傷であるので、公務上の災害 と考えられる。</p> <p>○ 年 ○ 月 ○○日</p> <p>任命権者の職・氏名 ○○市長 ○ ○ ○ ○</p>

特別の事情の下にある場合の出・退勤途上の負傷

(記載例)

2 災 害 発 生 の 状 況	私は、前日の午前8時30分から当日の午前8時30分までの24時間勤務を終え、午前8時35
	分にバイクで消防署を出て、通常の通勤経路を通過して退勤する途中、午前8時50分頃、市道
	20号線の東町附近の信号機のない交差点を直進しようとしたところ、左側の狭い道路から一
	時停止をしないで飛びだしてきた大型トラックの側面に衝突してしまいました。
	その際、転倒し、頭を道路にぶつけ一時気を失ってしまいましたが、近所の人の通報でか
	けつけた救急車で、市内の栃木大学病院に運ばれ、そのまま入院しました。
	なお、退勤する途中、通勤経路からの逸脱、中断はありませんでした。

*5 任 命 権 者 の 意 見	<div style="border: 1px dashed black; display: inline-block; padding: 2px;">1 4</div> <p>本事案は、特別の事情の下にある場合の退勤途上の負傷であるので、 公務上の災害と考えられる。</p> <p>○ 年 ○ 月 ○○日</p> <p>任命権者の職・氏名 ○○市消防長 ○ ○ ○ ○</p>

訓練中の負傷

(記載例)

2 災 害 発 生 の 状 況	私は、6月24日午後1時から、栃木県武道館において開催された任命権者主催の柔道・剣
	道大会に○○警察署の代表選手として、柔道の部個人戦に出場し2回戦で機動隊の山下選手
	と対戦しました。
	試合開始後約2分経過したところ山下選手に背負い投げを掛けられたので、投げられまい
	として後方に全体重を移したところバランスを崩し、山下選手ともつれるように後方に倒れ
	てしまいました。
	その時、右足首を外側にひねってしまいました。痛みも激しくすぐに立ち上がることがで
	きななかったので、試合を放棄し、かたわらで休んでいましたが、あまりにも痛みがひどかつ
	たため、午後2時頃同僚の下野巡査に車で近くの宇都宮整骨院に送ってもらい、そこで応急
	処置を受けました。
	翌日、市内の栃木市民病院に行き、診察を受けたところ「右足関節骨折」と診断され、そ
	のまま入院しました。

*5 任 命 権 者 の 意 見	<div style="border: 1px dashed black; display: inline-block; padding: 2px;">1 3</div> <p>本事案は、訓練中の負傷であるので公務上 の災害と考えられる。</p> <p>○ 年 ○ 月 ○○日</p> <p>任命権者の職・氏名 栃木県警察本部長 ○ ○ ○ ○</p>

レクリエーション参加中の負傷

(記載例)

2 災害 発生 の 状況	私は、8月27日午後2時30分頃、市立体育館において、地方公務員法第42条に基づき企画・立案・実施された県及び地方職員共済組合主催の平成3年度所属対抗バレーボール大会において、対人事課戦に選手として参加していたところ、相手方の打ったサーブを受けようとして、左足で地面を強くけって前に出ようとした時、左足首の裏側に急激な痛みを感じ、その場に転倒して起き上がれなくなりました。
	同僚の助けを借りて、直ちに近くの栃木整形外科に連れて行ってもらい、受診したところ、左アキレス腱断裂で全治1ヵ月との診断を受けました。

* 5 任命 権者 の 意見	<div style="border: 1px dashed black; display: inline-block; padding: 2px;">1 6</div> <p>本事案は、地公法第42条の規定に基づき、任命権者と地方職員共済組合が共同で企画・立案・実施したレクリエーションに参加中の負傷であるので、公務上の災害と考えられる。</p> <p>○ 年 ○ 月 ○○日</p> <p>任命権者の職・氏名 栃木県知事 ○ ○ ○ ○</p>

腰痛症

(記載例)

2 災害 発生 の 状況	本校では、校舎新築に伴う移転作業を前日の3月30日から始めていました。被災当日私は、音楽担当の鈴木教諭を手伝って音楽機材を2階の音楽室から新築校舎へ搬送する作業を行っていました。あいにく、音楽室から間近の階段先の出入口が工事のため閉鎖されていたので、非常階段（幅1m、15段）を使用して作業を行っていました。何度か上下したのち一人でシンセサイザーアンプ（40cm×59cm×29cm 重量30kg）を両脇からかかえ、お腹で支える形で階段を6段下りた時、足元が見えないために右足がステップの先へ滑ってしまい、バランスを取ろうとして狭い階段で無理やり腰をひねった瞬間に腰背部に激痛が走り、壁にもたれるようにしてその場に座り込んでしまいました。
	その後、鈴木教諭の助けを借りて、直ちに近くの下野整形外科で受診した結果、腰部捻挫と診断されそのまま入院しました。
	なお、私の身長は172cm、体重60kgで、今まで腰痛関係の既往歴はありませんでした。

* 5 任命 権者 の 意見	<div style="border: 1px dashed black; display: inline-block; padding: 2px;">1 2</div> <p>本件は、通常の動作とは異なる動作による腰部に対する急激な力の作用により、災害性の腰痛症を発症させたものであるので、公務上の災害と考えられる。</p> <p>○ 年 ○ 月 ○○日</p> <p>任命権者の職・氏名 栃木県教育委員会</p>

2 災 害 発 生 の 状 況	私の夫は、昭和62年4月1日に税務課に異動し、本年1月から、国民健康保険税の年末調定事務を担当していましたが、その時期、納税相談の準備業務が重なり、ここ数週間非常に多忙でした。
	税務関係の業務は、はじめてでありまた、同僚の1人が長期入院をしてしまい、業務量も増加していたようです。
	災害発生前の3週間は、休日もほとんど出勤し、また帰宅も午前0時を過ぎることが連日続いておりました。
	納税相談の始まった2月23日からは朝から多数の納税者が詰めかけて、昼食も満足にとれず納税者とのやりとりも緊迫したものが多くとぐったりしていました。24日も同様の状況で、帰宅も0時をまわっていました。25日は、同僚の方のお話しでは、納税相談に当たっていた午後3時40分頃、頭痛を訴え、まもなく昏睡状態となり救急車で下野大学病院に運ばれましたが、26日午前1時に、脳出血のため死亡しました。なお、夫は、ふだんから血圧は高くありませんでした。

*5 任 命 権 者 の 意 見	<div style="border: 1px dashed black; display: inline-block; padding: 2px;">1 6</div> <p>本事案は、公務による過重負荷を受けたことにより公務と相当因果関係をもって発症したことが明らかな疾病による死亡であるので、公務上の災害と考えられる。</p> <p>○ 年 ○ 月 ○○日</p> <p>任命権者の職・氏名 ○○市長 ○ ○ ○ ○</p>